

世界と闘うトップがほれこむ「佐賀県」 魅力は「アクセス」と「人財」

地方進出が重要な経営戦略になっている今、名だたる優良企業が注目するエリアがある。それが、佐賀県だ。半導体製造に不可欠なモールドディング(樹脂封止工程)分野で世界トップシェアを持つ「TOWA株式会社」(本社/京都市)もその一つ。岡田博和社長は佐賀県の魅力を「まずはアクセス。それに人財が素晴らしい」と語る。平成30年の明治維新150年を控え、日本の近代化をリードした佐賀県に、今、注目が集まっている。

アクセスのよさが 営業面でも強みに

平成28年4月。佐賀県鳥栖市にある半導体製造装置メーカー「TOWA」の新工場棟が稼働を始めた。「ものづくり」にこだわる同社が、今後のグローバル展開を見据え、新たに増設を決めた工場だ。従来は京都に主力を置いていた設計機能を鳥栖の九州事業所で大幅に増強し、設計から製造までを一貫して行えるようにした。「狙いは、『自適』。将来はカンパニーになれる可能性が十分にある」と岡田博和社長は佐賀県鳥栖市にある九州事業所のポテンシャルにほれこんでいる。「TOWA」は、半導体製造に欠

かせない装置や金型を造っているメーカーだ。なかでも得意とするのは、チップに電気供給する役割の数ミクロンのワイヤを保護するために樹脂で覆い固める「モールドディング工程」。この分野では世界一の開発・販売実績を誇る。そんな「TOWA」が初めて佐賀県鳥栖市に工場を進出したのは、平成10年のことだった。当時

は台湾向けの輸出が好調。九州およびアジアへの新たな供給生産拠点としての位置づけだったと岡田社長は振り返る。ではなぜ、鳥栖だったのか。「立地ですね。シリコンアイランドとして知られる九州には、我々のお客様であるメーカーがたくさ



TOWA株式会社 代表取締役社長 岡田博和氏

んいらつしゃいます。そのアクセスを考えたときに、福岡ではなく、鳥栖が当社には最高なのです。」佐賀県の東端にある鳥栖市は、九州自動車道と長崎・大分自動車道のクロスポイントにあり、九州

全県へ2〜3時間で移動できる。加えて空の便も、九州佐賀国際空港と福岡空港を使い分けることが可能。また九州新幹線が開通し、本社の京都から新鳥栖まで直行できるようになった。こうしたアクセスのよさが利をもたらずのは、物流面だけではない。岡田社長はこうも続ける。「お客様の信頼を得るためには、フェイストウフェイスでの営業活動が非常に重要なのです。その点、鳥栖は九州のすべてのお客様に対して近い。進出するなら鳥栖と、最初から決めていました。」

地震に強い佐賀県 のサポートも手厚い

今回の増設計画にあたって、迷いはなかったという。佐賀県は災害が少ない土地柄。熊本地震の際も鳥栖の九州事業所に影響はなかった。

進出後の佐賀県のサポートも手厚かった。全国トップレベルの補助金制度に加え、誘致企業永続支援員(パーマネントスタッフ)を設置。企業から指名を受けた職員は、異動後も継続して支援に取り

組む体制を整えている。

「相談すればすぐに足を運んでくれます。我々が大切にしている、フェイストウフェイスでのサポートです。だから我々も信頼できるのですよ」と、岡田社長。

「また佐賀の皆さんは本当に人情に厚く、外から来た人間を温かく迎えてくれる風土を感じますね。それに、実際に佐賀へ転勤した社員たちは口を揃えて、食べ物もおいしく、住みやすいと話しています。」

意欲的で勤勉 不良率の大幅削減も実現

だが岡田社長が何よりも魅力に感じたのは、佐賀県の人財力だ。

「企業の持続的な発展に一番重要なことは、やはり『人』です。その点、九州事業所で採用した社員は、元気がよく、また、勤勉さが非常に新鮮に映ります。この5年で考えても、退職した社員は家庭の事情による1人しかいません。鳥栖で働く社員は仕事に取り組み目が違います。輝いているんですよ。」

平成27年に世界文化遺産に登録された「三重津海軍所跡」は日本



TOWA株式会社九州事業所 モールド製造部の皆様

初の実用蒸気船を建造した地。幕末から明治期にかけて西洋の技術をいち早く取り入れ、研究し、当時の日本の技術革新をリードしてきたのは、佐賀藩だった。その気質が今も受け継がれているのを感じるといふ。

事実、鳥栖の九州事業所では不良率の削減に対して著しい成果をあげるなど、会社の業績向上に大きく貢献している。最近では佐賀から韓国へ技術指導に赴いたり、佐賀からダイレクトに製品を出荷する事例も増えてきた。アジアへ

の近さも大きな利点になりつつある。

「今後も佐賀で優秀な人財を確保し、世界有数の生産効率の高い金型工場として、品質優位、価格競争力のある拠点を育てていくことが目標。と同時に、単なる生産工場ではなく、地域に根差したカンパニーとして、地域と共にお互いの発展を目指していきたいと思っています。鳥栖や九州には海外からの留学生も数多くいると聞いていますので、グローバル化の進展にも期待しています」と熱く語る岡田社長。

半導体分野で培った技術を活かして、新事業に挑む計画も進行中だとか。佐賀県から世界を驚かすTOWAの新製品が飛び出す日も、近いかもしれない。

TOWA株式会社 本社・京都市

1979年に「精密金型」および「半導体製造装置」の製造販売で創業。寄木造りにヒントを得て確立した超精密金型の製作手法「モジュール工法」など、画期的な技術を続々と開発。世界中の半導体メーカーに認められ、2000年には東証1部に上場した。得意分野は、チップを保護するために樹脂で保護を施す「モールドディング工程」。最終的な製品に直結する重要な工程で、その専用装置や金型を国内外の半導体メーカーに提供。同分野での世界シェアは約50%を占め、最先端の「コンプレッション装置」(半導体・オブ・ザ・イヤー2016グランプリも受賞)ではほぼ独占状態。さらに現在、金型製造で培った加工技術を活かして、半導体製造分野以外の新事業にも着手している。



http://www.towajapan.co.jp

問い合わせ先
佐賀県産業労働部 企業立地課
☎ 0120-218-385
Mail: kigyouricchi@pref.saga.lg.jp
佐賀県首都圏事務所
TEL: 03-5212-9199
佐賀県企業立地ガイド
http://saga.kigyouricchi.jp/

